

規制改革推進会議 農林ワーキング・グループご説明資料

平成30年10月30日
一般社団法人 農林水産航空協会

1 協会が行う登録認定等機関としての業務

平成29年7月1日付で農林水産省の指導指針*に基づき登録認定等機関として登録され、空中散布に用いる無人航空機に関する次の業務を行っています。

- (1) 無人航空機のオペレーターの認定等に関する業務
- (2) 無人航空機及び散布装置の性能確認、登録及び定期点検等に関する業務
- (3) 航空法に基づく許可・承認手続きの代行申請

* 空中散布における無人航空機利用技術指導指針(平成27年12月3日付け27消安第4545号消費・安全局長通知)

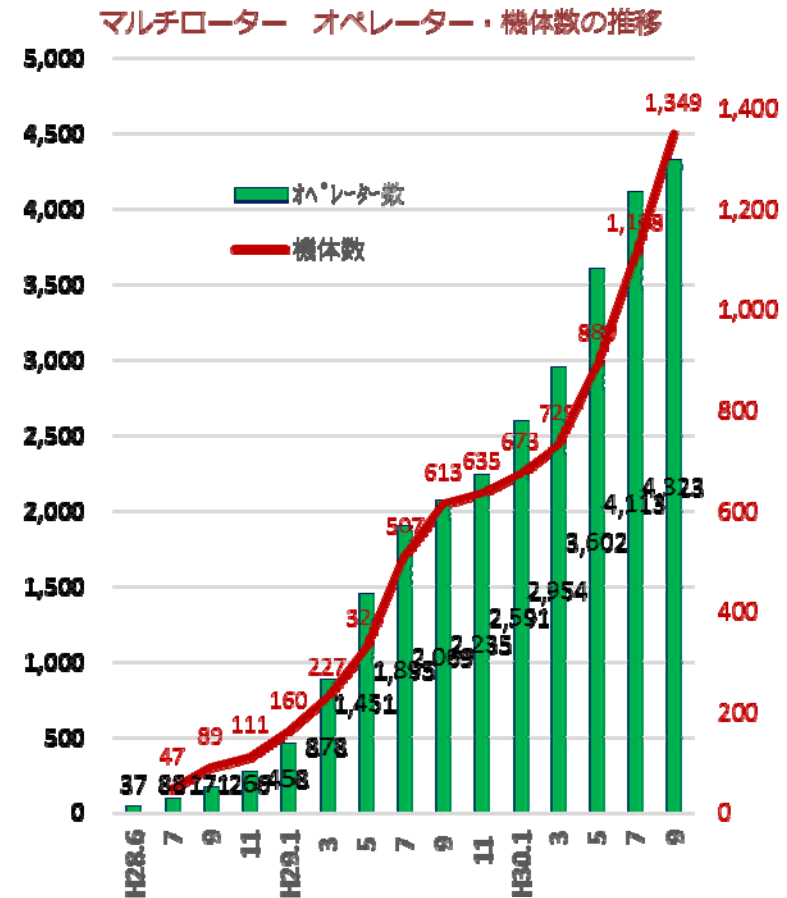
2 農業分野におけるマルチローター式小型無人航空機(以下、「マルチローター」)活用の実態

(1) 登録認定等機関としての業務実績(平成30年9月末現在)

- 性能確認を行った機種
:11社、16機種
- オペレーター数:4,323名
- 登録機体数:1,349機

(2) マルチローターによる散布の実績

- 8,299ha(平成29年速報値
農林水産省調べ)



マルチローターの状況 (H30. 9月末現在)

オペレーター数: 4,323名

機体数: 1,349機

会社名	機種名	装置
(株)エンルート	Zion AC1500	液剤用・粒剤用 液剤用・粒剤用
(株)丸山製作所	MMC940AC MMC1500AC	液剤用・粒剤用 液剤用・粒剤用
TEAD(株)	DAX04	液剤用・粒剤用
東光鉄工(株)	TSV-AQ1 TSV-AH1 TSV-AH2 AC940T	液剤用・粒剤用 液剤用・粒剤用 液剤用・粒剤用 液剤用・粒剤用
DJI JAPAN(株)	MG-1	液剤用・粒剤用
(株)クボタ	MG-1K	液剤用・粒剤用
(株)スカイマティクス	X-F1	液剤用
MAC-FACTORY	SS3000	液剤用・粒剤用
ヤマハ発動機(株)	YMR-08	液剤用
(株)マゼックス	MGO-01	液剤用
XAIRCRAFT JAPAN(株)	P20	液剤用

3 自動操縦機能、カメラを持つマルチローター機体の性能確認に関する取組状況（1）

- (1) マルチローターの自動操縦機種については、当協会では性能確認を行っておりません。

今後のマルチローター機種のパフォーマンス確認については、農林水産省の指導を受け、関わり方を検討してまいります。

3 自動操縦機能、カメラを持つマルチローター機体の性能確認に関する取組状況 (2)

(2) 小さな機体でバランスを維持しながら飛行するマルチローター機体にカメラを搭載する場合は、取付位置等によって大きな影響がある場合があります。

このため、性能確認の際にカメラを搭載して試験を行い、所定の飛行の安定性、農薬散布の分散性等を確認することとなります。

性能確認された機種にカメラを後付けする場合にも、飛行の安定性、農薬の分散性等に悪影響がないことを確認することが必要と考えております。

4 その他、上記に限らず、農業分野における更なるマルチローター利活用促進に向けた取組（1）

(1) 平成30年度農林水産省の補助事業を受けて、複数のマルチローターメーカーの協力を得て、

(協力メーカー: TEAD(株)、東光鉄工(株)、DJI JAPAN(株)、
ヤマハ発動機(株))

① 不整形のほ場、棚田等での水稲、野菜、果樹等の
多様な作物での自動操縦試験

② 大粒の肥料、水稲コーティング種子の散布に関する性能
試験

を行い、性能確認手続における確認項目の素案と、
機体・装置・操縦方法に関する提言をまとめることを
考えております。

4 その他、上記に限らず、農業分野における更なるマルチローター利活用促進に向けた取組（2）

(2) 安全対策に十分に配慮し地域住民の理解を得て、空中散布が継続できるよう、安全対策マニュアル(100頁)の作成・配布、各地のオペレーター等を対象とした研修会等により、安全運航及び農薬の適正使用等の啓発普及活動に引き続き取り組んでまいります。

